

夕張の石炭大露頭「夕張24尺層」/夕張市



～大地の力を現代に見る～

新生代古第三紀（約5,000万年前）の地層が地上に露出した露頭で、石狩層群夕張層の基底部にあたります。下位から十尺層・八尺層・六尺層と累重し、計二十四尺（7.5m）の厚さを持つ良質な瀝青炭層（光沢のある黒色をし、煙の多い炎を上げて燃える石炭）です。1889（明治22）年秋に、幌内（三笠）から調査に入った道庁技師・坂市太郎によって発見されました。国内では他に例のない大規模なものであり、天然標本として教育・自然科学的に非常に貴重です。

住所	〒068-0401 夕張市高松6番地1
公開状況	公開休止中（2019年4月に発生した火災のため、現在休止中）
アクセス （自動車）	札幌から約64km 約1時間11分 【道央自動車道 江別東IC降 約57分】
アクセス （公共交通機関）	札幌から約2時間 JR石勝線 新夕張駅降車～夕鉄バス 夕張市石炭博物館降車
問い合わせ	夕張市教育委員会 電話：0123-52-3166 E-mail：ybrkik@city.yubari.lg.jp
URL	http://www.city.yubari.lg.jp/kanko/mirusobutaiken/dairotou.html